

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会の開催について

〔平成 28 年 10 月 14 日〕
内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）決定

1 趣旨

那覇を中心とした沖縄の通勤時道路渋滞は、県庁所在地の中で、全国一深刻であり、県民の生活のみならず、観光や物流、産業活動にも影響を及ぼしており、これからの沖縄の発展にとって大きな課題となっている。また、沖縄県は公共交通機関の利用が少なく、車中心社会となっており、今後高齢化が進展する中で、生活を持続可能なものとする観点からも公共交通のあり方が課題となっている。

このような中で、沖縄県民の生活環境の向上、魅力的な観光地の実現、地域経済の生産性向上を図り、生活の豊かさを実感できる社会を実現するためには、関係機関が連携し、道路渋滞対策や公共交通機関、自転車等の利用促進を推進することが重要であり、それらの課題及び対応等について検討を行うことを目的として、「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催する。

2 構成員

懇談会の構成員は、別紙のとおりとする。ただし、大臣が必要と認める場合には、構成員を追加することができる。懇談会は必要に応じてその他の関係者の出席を求めることができる。

3 検討事項

懇談会の検討事項は、以下のとおりとする。

（1）道路渋滞

交差点改良、高速道路活用について

（2）公共交通機関、自転車対策

モノレール対策、バス対策、自転車対策について

（3）情報提供等

駐車場情報提供、標識改善について

4 検討の進め方

懇談会は、当面、年内に2回ほど実施し、本年11月を目途に中間とりまとめを行う。

5 庶務

懇談会の庶務は、政策統括官（沖縄政策担当）及び沖縄振興局の協力を得て、沖縄総合事務局において処理する。

6 その他

前各項目に定めるもののほか、懇談会の運営に関する事項その他必要な事項は、懇談会において別に定める。

(別 紙)

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会構成員

安里 昌利	沖縄県経営者協会会長
新垣 美佳	株式会社 新垣通商 常務取締役
有住 康則	琉球大学工学部長
浦崎 唯昭	沖縄県副知事
北野 宏明	沖縄科学技術大学院大学(OIST)教授
合田 憲夫	(一社)沖縄県バス協会会長
古謝 景春	沖縄県市長会会長
佐次田 朗	(公社)沖縄県トラック協会会長
城間 幹子	那覇市長
新城 恵子	沖縄県中小企業家同友会代表理事
平良 敏昭	旭橋都市再開発株式会社代表取締役社長
東 良和	日本旅行業協会(JATA)理事
美里 義雅	沖縄都市モノレール株式会社代表取締役社長
與儀 弘子	沖縄県公安委員、元那覇市副市長

(五十音順、敬称略)